

ウムチョ ムゥイーザ通信 No.31

ルワンダ語で「良い文化学園」の意味を表します。

「震災から1年が経って」

ルワンダの教育を考える会
会長 マリールイズ



震災から1年が経ちました。皆様に見守られながら活動をすることができました。震災が起きてすぐの時は、避難所へ被災した方々とルワンダのコーヒーと紅茶と会員の皆さんが用意してくれたクッキーやケーキを分かち合いながら寒い春の終わりを過ごすことができました。夏は、チャリティーコンサートのびのびキャンプをとおして、被災された子ども達に寄り添うことができました。秋から冬にかけて仮設住宅で暮らす皆さんとルワンダコーヒー等で体を温めながら、寒い厳しい冬を乗り越えることができました。私達は、仮設住宅に暮らす皆さんと会うのが楽しみです。皆さんに不安もあるけどいつも笑顔で迎えてくれます。一緒に過ごす時間はあっという間に過ぎていきます。そして、また、次の月に会える約束をするのが楽しみです。大変な中で、暮らす皆さんの未来へ向かっていく姿勢をこれからも持ち続けて欲しいと願いながら、活動を続けます。皆さんが受け入れてくれてこのようなお手伝いをさせていただけることに心から感謝しています。これからも、寄り添っていきたいと思っています。



一方ルワンダでは、東日本大震災後支援が途絶え学園運営ができなくなるかと思っていたにもかかわらず、たくさんの仲間に支えられていつもどおりルワンダの子どもたちに支援を続けることができました。震災直前に新学期が始まった6年生は、晴れて昨年10月に卒業することができました。そして、小学校卒業国家試験に25人全員合格することができました。晴れて2012年1月に全国各地の中学校にそれぞれ入学できました。そのうちの3人は、貧しい家庭から入学できなくなっていたけれど、日本の皆さんによる支援による奨学金を渡すことができました。最初の卒業生18名は今年、全員高校3年生になりました。高校卒業後国家試験が待っています。今はわが子が受験を受けるかのように、希望と不安を胸に見守り続けたいと思います。

在校生から3月11日のために日本語のメロディにのせ、たくさんの鶴を折って復興へのメッセージをDVDにして贈ってくれました。初めて千羽鶴を折る輝いた顔に「感動と明日への希望」を贈ってくれた気がします。みんなで校庭に描いた「ゆめ」の文字がまさに私達福島・東北・日本に住む一人一人への贈り物と感じます。どうか、一緒に夢をみましょう。

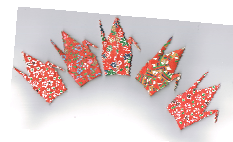
そして、子どもたちが日本語で歌ってくれた気持ちを被



災地の皆さんに伝えたいと思います。

2011年度3学期(8月～10月)

ウムチョムイーザ学園の会計報告



〔収入〕		〔支出〕		ルワンダフラン:円換算	
項目	金額	項目	金額	項目	金額
学費	272,227	職員への給料	916,349	先生へ貸し出し	10,453
日本からの支援	874,698	設備維持経費	20,338	税金や利子	106,406
入学登録料	17,337	通信費	10,122	銀行への返済	77,398
バス運行収入	91,783	消耗品	15,488	予備費	30,532
水販売収入	1,679	車の維持費	131,709		
農業収入(やぎ・うさぎ)	0	研修会議費	43,929		
その他の収入	146,089	保険料	0		
個人寄付	40,155	環境整備費	166,260		
他の NGO からの寄付	0	その他の経費	76,849		
ADESOC会費	0	備品	0		
銀行からの借り入れ	293,452	建設費	0		
2 学期からの繰越金	198,411	小 計	1,381,044	小 計	224,789
合 計	1,935,831			合 計	1,605,833

※ 学費未納 540,904 円

※ 7 月までの銀行からの借入れ 439,380 円

青年海外協力隊隊員 佐々木信恵さんからのレポート

2012年3月



図書室はすっかり子ども達のお気に入りの場所になりました。

幼稚園生の楽しいお絵かき



卒業式での在校生による鍵盤ハーモニカの演奏



洋裁社会人学級修了式





『ウムチョムイーザ学園における給食プロジェクト,始動!!』

ルワンダの教育を考える会 新潟支部代表 藤田純子

私は青年海外協力隊として1969年～1971年まで東アフリカのタンザニアで野菜栽培指導という活動をしてきました。この2年間でさまざまな経験をし、いろいろな場面で国際協力の実際を学びました。その後、アフリカの国々を訪問する中で、なにか自分でアフリカで活動する機会はないか模索していたところ、マリールイズさんと出会い、講演の中でウムチョムイーザ学園の実情を知りました。通ってくる子ども達は十分な食事を食べておらず、落ち着いて勉強が出来ない子ども達が多くいるということでした。

プロジェクトの内容としては、まず学校に調理室を造ります。設備は水回り、かまど、調理器具、食器などをそろえます。初めはビスケットやバナナなどのおやつ的なものからはじめ、軌道に乗ったら主食や温かいスープなどを作ります。教員、児童、保護者が協力して作業にあたり、学校の畑で野菜を栽培し、家畜の飼育などで給食材料の補充ができるよう意識を高めることが出来れば理想的である。予算としては国際協力のための基金を使い、平成23年12月より送金を開始、平成24年4月まで50万円を送金します。その進捗状況を、この夏スタディツアーで進捗状況を確認したいと思います。



【建設中の給食室 2012.6.16】



調理実習は屋外で!!

—新潟の会員を紹介します—

Discover Sado Island

DSI 佐渡発見通訳ボランティアの岡村礼子さん、荻田裕巳さんの2名です。

お二人は昨年、マリールイズさんの佐渡での講演を聞いたことがきっかけで「ルワンダの教育を考える会」の会員になりました。

お二人ともアフリカに興味がありいつかはルワンダへ行きたいと熱望されています。



コンゴナイル（ルワンダ）の山の学校

会員 中地フキコ

ルワンダの首都キガリから西へ四輪駆動車で
走ることおよそ4時間。跳ね上がりそうな体を
シートベルトで押さえ、道路と呼べないような
コブだらけの道をひたすら登って、マリールイ
ズさんと私はやっとコンゴナイルの町に着いた。



コンゴナイルは、ルワンダの西の端、キブ湖
の東岸にある小さな町だ。電気はあるが、水道はまだない。この地にある学校「マリール
クイーンズスクール」には、現在、幼稚園児と小・中学校の児童・生徒約1,200人が通っ
ているが、教室も教員も足りず、授業は午前と午後の二部制で行っている。

4年前の2008年、このスクールには、まだ中学校がなかった。小学校の卒業生は
毎年100人以上もいるのに、中学校は遠くにあり、通うのは、わずか2、3人しかいな
いという状況だった。当時、全生徒864人中、父母のいずれかを亡くした子が341人、
両親のない子が124人もいた。1994年のジェノサイドによる悲劇は、この地でも多く
の犠牲者を出していたのである。

私の弟は、マリールイズさんを通して、この国際支援の届かない山の学校のことを知
り、現地を訪れ、中学校の建設支援を申し出た。そして、京都で『ルワンダの学校を支
援する会』を立ち上げ、私達はフリーマーケットや募金活動で支援金を集めて送った。



昨年、中学校は完成し、子どもたちは、そ
こで授業を受けている。中学校ができて、就
学率はぐんと高くなったが、貧しい子どもた
ちは制服や教科書、学用品を揃えることがで
きない。また、水汲みや家の手伝い等の理由
で、未だに学校に行けない子どももいるとい
う。

←（道端でサトウキビを売っていた子どもたち）



「ムラホ アマホロ！」学校長のウザンベル
ワンガさんは、開口一番こう言って、握手す
る手をさし出した。

「ムラホ」は、キニヤルワンダ語で「こんに
ちは」、「アマホロ」は「平和」だ。子どもた
ちも、教会の牧師さんも、教育委員会の人も、
出会ったおばさんも、コンゴナイルでの挨拶

の言葉は、みんな同じで「ムラホ アマホロ！」だった。過去に経験した悲しい内戦を二度と繰り返させないため、このような挨拶を交わすようになったのだろうか。

私たちが訪れた日は土曜日であったにもかかわらず、たくさん子どもたちが広場に集まり出迎えてくれた。小学生は「ルワンダダンス」と「歓迎の言葉」を、中学生は「ルワンダの歌とダンス」を、それぞれ披露してくれた。歌もダンスもエネルギッシュで本当にうまい！

「多くない寄付なのにこんなに歓迎してもらって恐縮しています」と言うと、理事長を兼ねている牧師さんは、こう言った。

「金額ではなく、心です。あなたは、わざわざ遠くから来てくださった。このことは、私たちに新たなスタートをきるきっかけをもたらしてくれました。子どもたちは、大人になったら、人のために役立つ働きをするようになるでしょう。また、このことがきっかけになって、先生

方と PTA それに教育委員会が更なる連携を強めていくことになるでしょう。私たちに一番大切なものは友情です。あなた方がこれからも私たちとの友情を深めてくださるように、この舟（80cm ぐらいの木彫りの置物）を贈ります。ルワンダと日本を行ったり来たりする交流の舟です。今は支援してもらっている私たちも、そのうち何かあなた方のお手伝いができるようになりたいと思っています」



1994 年のルワンダの内戦には、多くの少年兵（7 歳～17 歳ぐらい）が戦いに加わっていたといわれる。子どもたちは、おもしろがって銃を持ったり、甘い言葉で軍隊に誘われたりして兵士になり、やがては平然と殺人や放火をするまでになっていたそうである。

人として大きく成長する最も重要な時期に必要な教育を全ての子どもが受けられるよう、これからも支援していきたい。

ルワンダの人々は陽気で親切、アフリカ特有のダイナミックさも持ち合わせていた。明るい日差しと豊かな自然、そして、今ある平和をずっと守ってほしいと願う。



ルワンダコーヒー通信販売のお知らせ

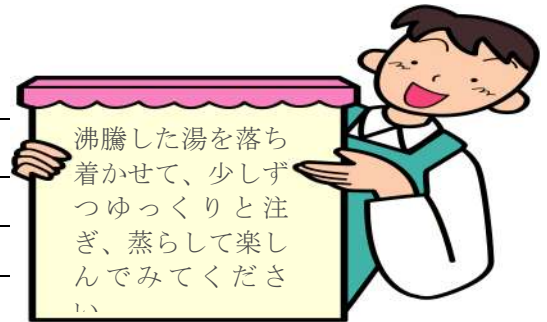
いままでルワンダの自立支援及びルワンダの文化の紹介の一つとして、コーヒーを輸入してきました。

この目的に賛同し、今回ダックコーヒー様が日本での焙煎を引き受けてくださることになり、さらに新鮮なコーヒーをお届け出来るようになりました。

コーヒーと共に「命と教育と平和の大切さ」が日本中に広まることを願っています。

■ 商品概要

商品名	ルワンダ マラバ コーヒー
商品規格	ルワンダコーヒー（粉）
賞味期限	1年
原材料	アラビカコーヒーブルボン種
特徴	コーヒーはルワンダの重要な農産物です。手塩にかけて育て、手で収穫、完全洗浄、天日乾燥、一粒一粒を手で選別します。コーヒー栽培に適した自然環境と丁寧な作業が最高品質のグリーンビーンズ（生豆）を生み出します。 バランスのとれた柔らかみのある柑橘系の酸味と甘味、クリーミィなコクが特徴です。
保存方法	常温
発注方法	メール： info@rwanda-npo.org ※ 発注後4～5日後納品 送料込み



■ 価格

商品名	ルワンダ	マラバ	コーヒー
200g	1,200円	最小購入個数	5個
300g	1,800円	最小購入個数	5個
500g	3,000円	最小購入個数	2個

コーヒー以外にも、ルワンダの紅茶やバナナの木々の皮で、ルワンダの牛のネックレスも販売しております。

お気軽にお





Rwanda Marabaコーヒー

このコーヒーは、中央アフリカにあるルワンダ共和国から取り寄せたものです。カフェインが少なく、さらっとした口当たりのコーヒーです。

通常のコーヒーより少なめの分量でお入れください。少なめの分量で十分美味しいコーヒーになります。

このコーヒーの収益金は、ルワンダに建設中の学校、ウムチヨムイーザ学園の建設及び運営費用となります。

御支援ありがとうございます。

〒960-8055
福島県福島市野田町四丁目8-20
NPO法人 ルワンダの教育を考える会
TEL/FAX 024 (533) 8289

ホームページのリニューアルを検討中
良いアイデアがありましたら
是非お寄せ下さい。



NPO法人
ルワンダの教育を考える会
Think About Education in RWANDA

事務局について | 個人情報の取扱いについて | お問い合わせ | サイトマップ

お知らせ | ルワンダでの活動 | 日本国内での活動 | ルワンダの教育を考える会について | カンベンガ・マリールイスの紹介 | 掲示板 | 入会・参加方法



最新のお知らせ

- 2012.03.20 [3月例会のお知らせ](#)
- 2012.02.05 [ウムチョムウイザ学園の写真\(撮影:岡本裕志\)](#)
- 2012.01.22 [2012年新年会・例会のご案内](#)
- 2011.12.11 [12月例会のお知らせ](#)
- 2011.12.11 [ルワンダの教育を考える会](#)
- 2011.12.04 [ウムチョムウイザ通信No.80発行しました。](#)

お知らせ

当会のスタッフを装った「詐欺行為」にご注意ください

誠に遺憾ではございますが、ルワンダの教育を考える会のスタッフを装い、寄付を募る「詐欺行為」が発生しています。
当会では訪問や電話による寄付の募集は一切行っておりませんので、くれぐれもご注意ください。

イベント・講演スケジュール

- 2012.03.17 [第10回ユニセフの集い\(神戸 3月17日\(土\)\)](#)
- 2012.03.11 [【東京】東日本大震災から1年〜特別講演会](#)
- 2012.02.05 [写真の学校 2012年2月5日\(島根\) 〜写真から人々を考える〜](#)

- 2012.01.07 [ルワンダ写真展・inふくしま2 1月7日\(土\)〜28日\(土\)](#)
- 2011.12.22 [ルワンダ写真展・inふくしま 12月22日〜26日](#)

イベント・講演スケジュール

メディア掲載

- 2012.02.05 [ウムチョムウイザ学園の写真\(撮影:岡本裕志\)](#)
- 2011.10.19 [福島の子どものために〜「心と体のストレッチ」の笑顔が広がる〜を実施！](#)
- 2011.02.12 [ルワンダ写真展inふくしま2月27日まで](#)
- 2010.08.26 [ウムチョムウイザ学園で日本・たなばた祭りを開催した記事がJICAに掲載されました。](#)
- 2010.06.22 [【再放送】BSドキュメンタリー「『償い』と『救済』の途切り〜ルワンダ・大虐殺からの復興〜](#)

メディア掲載

RWANDERFUL
ルワンダフル
コンサート
2010.7.2(金)・19(日) 全国各地で開催決定!

私の母国ルワンダでの内戦体験から「教育の大切さ」や「命の尊さ」を訴えつけていきます。
カンベンガ・マリールイスの紹介

幼稚園〜大学までの総合教育を目指す
ウムチョムウイザ学園

フォトライブラリー

ご利用のブログなどで告知にご協力ください
ブログパーツ設置方法について
皆様のご支援をお待ちしております

お知らせ | ルワンダでの活動 | 日本国内での活動 | ルワンダの教育を考える会について | カンベンガ・マリールイスの紹介 | 掲示板 | 入会・参加方法

ページトップ

事務局について | 個人情報の取扱いについて | お問い合わせ | サイトマップ

リンクしていただける方はトップページをお願いします。また、掲載されている内容の無断転載はご遠慮ください。

Copyright © 2000-2012 Think About Education in RWANDA. All Rights reserved.

ルワンダDAY in 福島

講演 & 人形劇

7月16日(月祝)14:00~開催
福島市A・O・Z(アオウゼ)

劇団「赤いトマト」
による楽しい人形劇。
笑って笑って、免疫
力を高めましょう!!



お知らせ

- ・ 次回例会 — 4月29日(日) 福島市市民活動センター
福島市大町4-15 チェンバおおまち 3階
- ・ 総会 — 5月13日(日) 場所未定
当会発展のために多くの御意見をお寄せ下さい。

☆各種振替口座番号のご案内です!☆

会費振込・寄付・募金(奨学基金もよろしくお願いします。)

郵便振替口座: 02290-0-97126

加入者名: NPO法人 ルワンダの教育を考える会



ソーラー発電...ソーラー発電機を増やし、電力の確保をしたいと考えています。

郵便振替口座: 02200-2-77634

加入者名: ルワンダ ソーラー発電P

HELP

事務局では、事務局スタッフ及び各種イベント開催時、お手伝いくださる方を随時募集しています。

—編集後記—

東日本大震災から1年が過ぎ、阿武隈川の白鳥も北をめざして旅立ちました。



桜のつぼみもふくらみ、進級・進学を迎え、未来を信じて旅立つ子ども達に、幸多かれと祈ります。

NPO法人ルワンダの教育を考える



理事長 カベンガ・マリルイズ

〒960-8055

福島県福島市野田町四丁目 8-20

TEL / FAX: 024-533-8289

ホームページ: <http://www.rwanda-npo.org>

e-mail: info@rwanda-npo.org